

平成 22 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修報告

化学・材料系技術班 ○本郷 友哉, 岡野 聡, 森 雅美
電気電子・情報系技術班 新谷 公平, 正木 宏典

主 催：国立大学法人 広島大学
研修期間：平成 22 年 8 月 25 日（水）～8 月 27 日（金）
研修会場：広島大学 東広島キャンパス

1. はじめに

本研修は中国・四国地区の国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校等の技術職員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得させ、職員としての資質の向上を図ることを目的とする研修である。本研修に本学工学部等技術部より 5 名が参加したので、報告する。

2. 参加状況

本研修には中国・四国の各機関から計 53 名が受講した。本学からは、本技術部から化学・材料系技術班の 3 名、電気電子・情報系技術班の 2 名が、また医学部等技術部から 1 名が受講した。

3. 研修内容

本研修の日程表を次ページの表に、また研修の様子を写真-1 に示す。1 日目と 3 日目は全体講義が行われ、2 日目は「情報処理分野」と「物理・化学分野」とに分かれての実習が行われた。本技術部からは筆者（本郷）が「放射線の基礎と測定」を、岡野技術員と森技術員が「ガラス加工」を、新谷技術員が「デジタル論理回路の製作」を、正木技術員が「Linux OS インストールとサーバ構築入門」を受講した。



写真-1 研修の様子

4. 受講しての感想

筆者は以前より放射線の測定（GM サーベイメータによる）の経験はあったが、霧箱の製作（放射線の可視化）や、他の機器による測定は行ったことがなかったため、今回の実習は知識を深めるのに大いに役立った。他の技術職員においても、実習テーマ内容に関する過去の知識・経験の有無に関わらず、これまでの知識をさらに深め、技術を新たに習得することができたのではないだろうか。

また、今回の研修や懇親会等で他大学・機関の技術系組織について知ることができたり、学外の技術職員と接する機会を持てたりしたことは、今後、技術職員としての職務を行う上で、良い刺激となった。

謝辞：本研修でお世話になりました広島大学技術センターの皆様に感謝いたします。また、本技術部から 5 人もの技術職員が研修に参加できたことに関し、ご配慮して頂いた関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成22年度 中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修 日程表

別紙

主催：国立大学法人広島大学

日程	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00
第1日 8/25 (水)	受付	写真撮影	オリエンテーション	13:50	14:00	14:10	14:30	15:00	15:30	16:00	16:10	16:30	17:00	17:10	17:45	17:10	17:45	18:00	18:30	19:00	情報交換・懇親会 (大学内 北1レ스토랑)	
																						全体講義 I (技術支援) 「大学病院看護部の組織運営について」 広島大学病院副院長(看護担当)・看護部長 才野原照子
第2日 8/26 (木)								昼食・休憩														
第3日 8/27 (金)								休憩														

※講師の都合により、日程等変更する場合があります。